

第1号様式（第7条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 市 長		平成 29年 7月26日
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）		報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名）
京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1番地		株式会社 G S ユアサ 取締役社長 村尾 修
京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。		
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO14001	
適 用 範 囲	京都事業所	
導 入 年 月 日	1997年 12月 24日	
認 証 番 号	EC97J1151	
基 本 方 針	当事業所の活動（バッテリーをはじめ、電源システム、照明機器等の開発・製造・販売）、製品及びサービスが環境に与える影響を的確に捉え、次の方針に基づき環境マネジメントシステム及びパフォーマンスの継続的改善を図ります。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	2016年度取り組み目標（抜粋） ①省エネルギー(CO2原単位) ～工場部門で2014年度比2.0%削減 ②下水排出量(原単位)削減 ～工場部門で2014年度比1.5%削減 ③環境保全 ～フロン排出抑制法対応のルール作りと運用 ④製品開発・販売 ～衛星用Li-ion電池の高エネルギー密度化 UV-LEDの開発 アイドリングストップ用リチウムイオン電池の開発	
目標を達成するための取組の内容	①省エネルギー(CO2原単位)～ ・省エネ設備の導入 ・設備等の運転方法改善 ・不良率の低減 ②下水(原単位)削減～ 循環水化の推進、社水の使用抑制 ③環境保全 ～ 機器台帳の整備および改善。点検実施。 ④製品開発・販売 ～ 計画に基づく開発・販売進捗	
目標を達成するための取組の進捗状況	①省エネルギー(CO2原単位)～ 予定通り省エネ設備・機器導入済。 ②下水削減～ 循環水適正使用の推進、漏水などの点検など進捗中。 ③環境保全～ 体制整備及び法定点検を完了。 ④製品開発・販売～ 計画通り進捗。	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	①省エネルギー 工場部門において、省エネルギー設備の導入や、運用改善が進んだ。 ②下水～ 前々項の取組により目標を達成した。 ③環境保全～ フロン排出抑制法に抜けなく対応できた。 ④製品開発・販売～ 計画どおりに進捗。社会に貢献できた。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	順守すべき法規制や規定などを定期的に見直し、モニタリング活動などを通じて、その順守状況を管理している。 結果、コンプライアンスに障る様な違反は起こしていない。また、環境関連の訴訟、罰金、過料なども発生していない。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	ISO14001に定めるマネジメントレビューにより、原則として毎年1回評価・見直しを行っている。 平成29年度活動について、目標取組は昨年度をほぼ踏襲しながら活動の深化を図ることとした。 また環境に関するヒヤリハットを未然に防げるよう、構内の関連施設や、運用状況に対するパトロールを実施することとした。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。